

2023年3月期 第3四半期 決算説明資料

株式会社 高松コンストラクショングループ 証券コード：1762

2023年2月8日

1. 2023年3月期 第3四半期決算	2
2. 2023年3月期 業績予想・配当予想	19
3. トピックス	22

2023年3月期 第3四半期決算

企業集団の状況（連結）

土木	建築	不動産	木造戸建	主要営業エリア
	高松建設			東京・大阪・名古屋
	高松テクノサービス(大阪)			大阪
	高松テクノサービス(東京)			東京
		高松エステート		大阪・東京
	住之江工芸			国内（全国）
	金剛組			大阪・東京
	中村社寺			名古屋
	大昭工業			大阪
	青木あすなろ建設			国内（全国）
あすなろ道路				北海道
島田組				国内（全国）
みらい建設工業				国内（全国）
青木マリーン				国内（全国）
	エムズ			首都圏
東興ジオテック				国内（全国）
			タカマツハウス	東京・神奈川・埼玉
			ミブコーポレーション	東京・神奈川
			タカマツビルド	東京・神奈川
		TCG USA		米国

高松コンストラクショングループ（純粋持株会社）

2023年3月期 3Q業績推移 (連結)

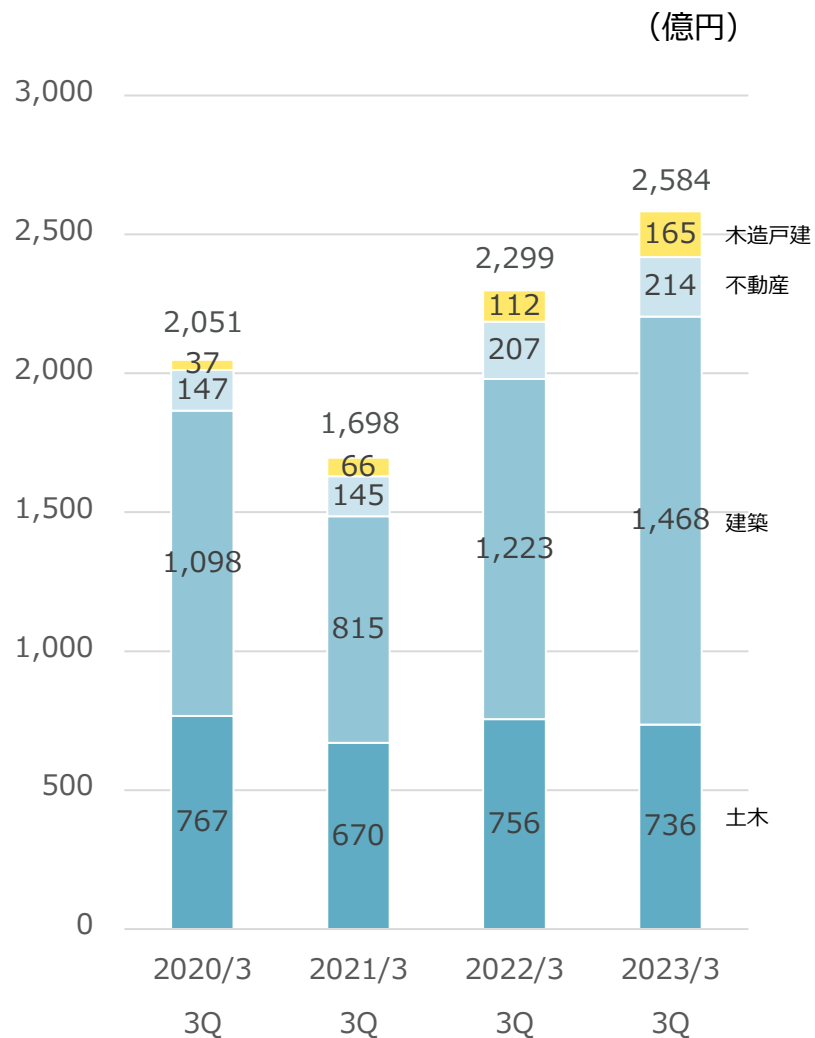
(億円)

項目	2020/3期 3Q	2021/3期 3Q	2022/3期 3Q	2023/3期 3Q	増減率
受注高	2,051	1,698	↑ 2,299	↑ 2,584	+12.4%
売上高	1,998	2,097	↓ 1,906	↑ 2,036	+6.8%
売上総利益	289	274	↓ 273	↑ 290	+6.4%
売上総利益率	14.5%	13.1%	↑ 14.3%	→ 14.3%	0pt
営業利益	104	80	↓ 67	↑ 68	+1.1%
営業利益率	5.2%	3.9%	↓ 3.6%	↓ 3.4%	△0.2pt
経常利益	101	81	↓ 68	↑ 70	+2.9%
経常利益率	5.1%	3.9%	↓ 3.6%	↓ 3.5%	△0.1pt
親会社株主帰属 四半期純利益	57	48	↓ 41	↓ 40	△0.6%
四半期純利益率	2.9%	2.3%	↓ 2.2%	↓ 2.0%	△0.2pt

セグメント別 受注高 (連結)

◆ 土木はみらい建設工業で大幅増も、青木あすなろ建設、東興ジオテックでの減少が影響し、前年比△2.7%。建築は高松建設、青木あすなろ建設の受注増の影響が大きく+20.0%。木造戸建は好調を維持し、前年比+47.8%。

セグメント別	2020/3 3Q	2021/3 3Q	2022/3 3Q	2023/3 3Q
土木	76,746	67,011	75,674	73,611
建築	109,866	81,589	122,374	146,877
不動産	14,735	14,574	20,732	21,409
木造戸建 (タカマツハウスグループ)	3,783	6,697	11,218	16,578
TCG連結	205,131	169,873	229,999	258,476

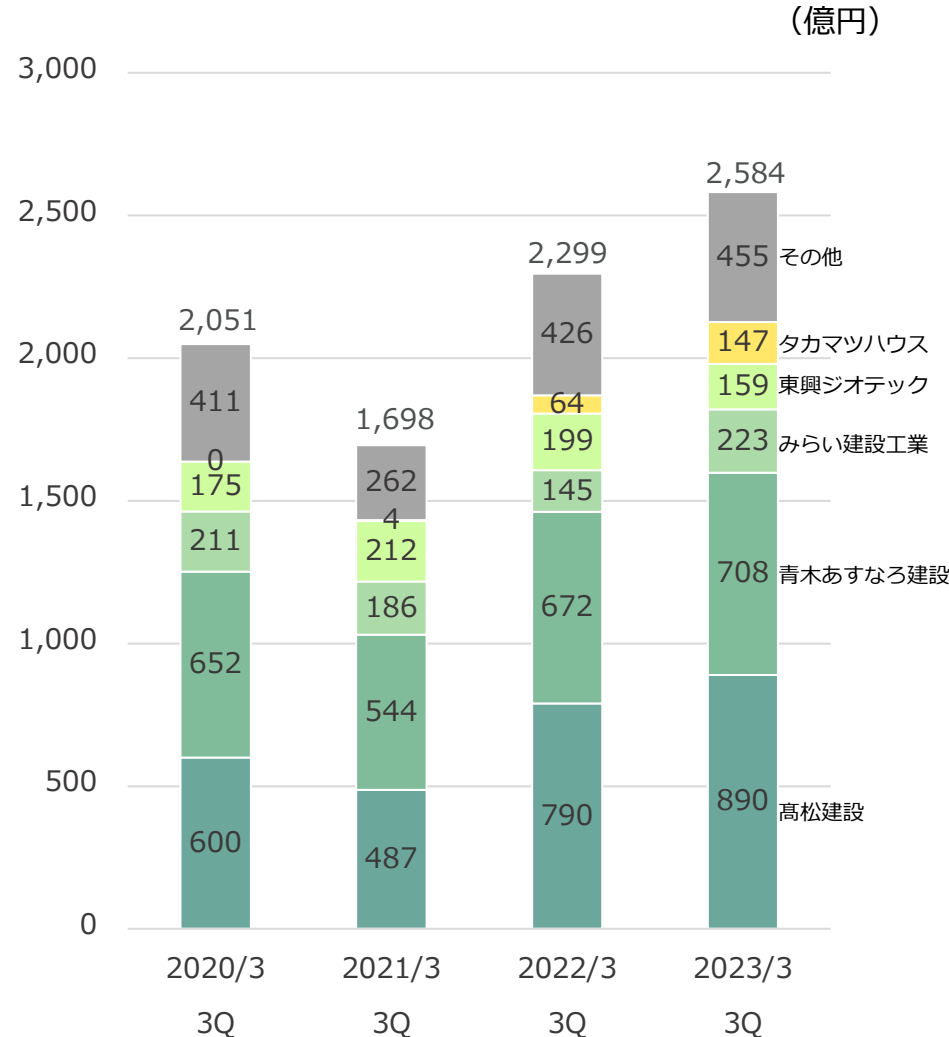


※個々の数値の合計と合計数値は連結修正のため一致しない場合がある。

中核事業会社別 受注高 (連結)

◆ 高松建設は大阪市淀川区で複合施設の大型案件の受注により前年比+12.6%、青木あすなる建設は前年比+5.3%。みらい建設工業は東大阪市の耐震補強工事など大型案件の受注があり前年比+53.1%、タカマツハウスも好調を維持し前年比約2.2倍の受注。東興ジオテックは対象工事の出件が遅れたことなどが影響し、前年比△20.2%。

会社別	(百万円)			
	2020/3 3Q	2021/3 3Q	2022/3 3Q	2023/3 3Q
高松建設 (単体)	60,030	48,797	79,083	89,059
青木あすなる 建設 (単体)	65,211	54,491	67,271	70,858
みらい 建設工業 (単体)	21,184	18,644	14,584	22,335
東興 ジオテック (単体)	17,588	21,272	19,946	15,918
タカマツ ハウス (単体)	-	465	6,482	14,792
その他 (含連結調整)	41,118	26,204	42,633	45,514
TCG連結	205,131	169,873	229,999	258,476



※個々の数値の合計と合計数値は連結修正のため一致しない場合がある。

※個社の数値はグループ会社間取引を含む。

©2023 TAKAMATSU CONSTRUCTION GROUP CO., LTD.

中核事業会社別 次期繰越高

- ◆ 2Qでのごみ処理施設や当期での複合施設など大型工事の受注により、高松建設で前年比+21.8%、青木あすなろ建設の建築で前年比+20.3%と増加。東興ジオテックは上期からの不振が続き△15.3%。その他、大昭工業で+65.7%、青木マリーンで+62.5%、住之江工芸で+58.2%繰越高が増加したことにより、中核5社以外のグループ会社で+20.4%。

(百万円)

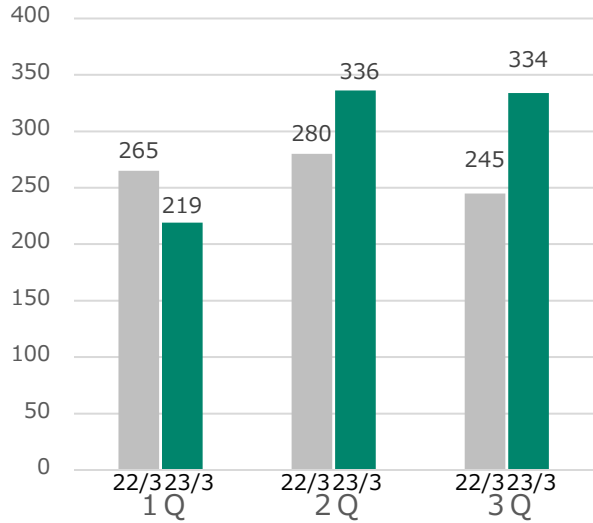
会社別	2022/3 3Q	2023/3 3Q	増減額	増減率
高松建設 (単体)	168,618	205,299	↑ 36,681	+21.8%
青木あすなろ建設 (単体)	土木	57,194	↑ 3,604	+6.3%
	建築	70,856	↑ 14,396	+20.3%
	合計	128,051	↑ 17,999	+14.1%
みらい建設工業 (単体)	29,989	35,224	↑ 5,235	+17.5%
東興ジオテック (単体)	12,197	10,336	↓ △1,861	△15.3%
タカマツハウス (単体)	0	2,430	↑ 2,430	—
その他	19,489	23,455	↑ 3,966	+20.4%
TCG連結	358,344	422,794	↑ 64,450	+18.0%

※個々の数値の合計と合計数値は連結修正のため一致しない場合がある。

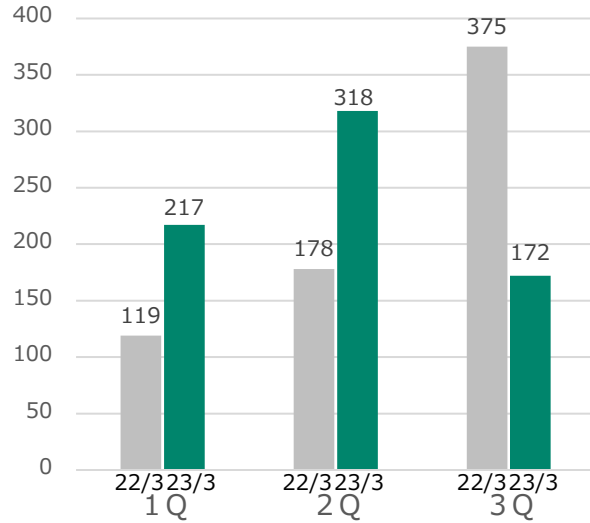
中核5社とTCG（連結）の四半期ごとの受注高

(※ 数値は累計値ではなく四半期毎の金額)

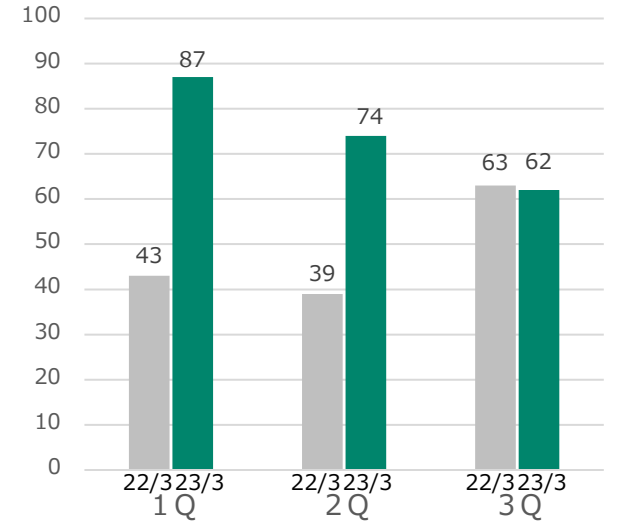
高松建設



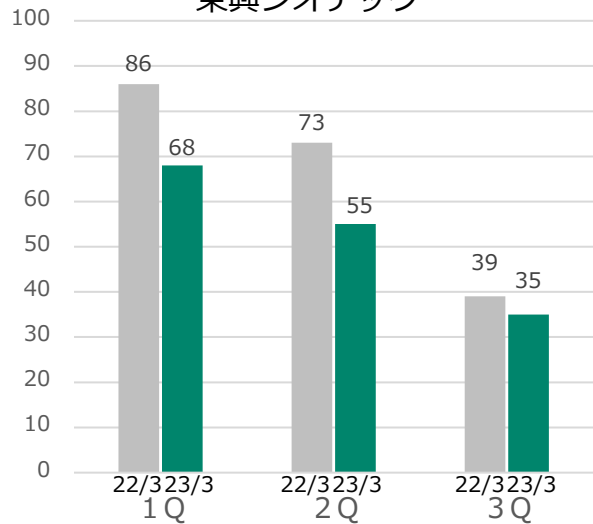
青木あすなろ建設



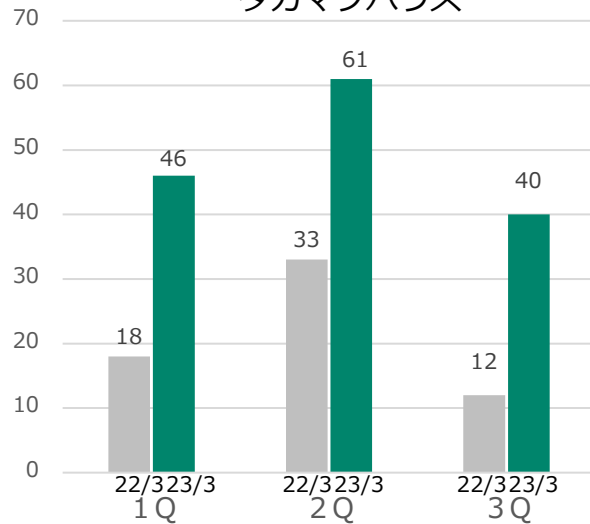
みらい建設工業 (億円)



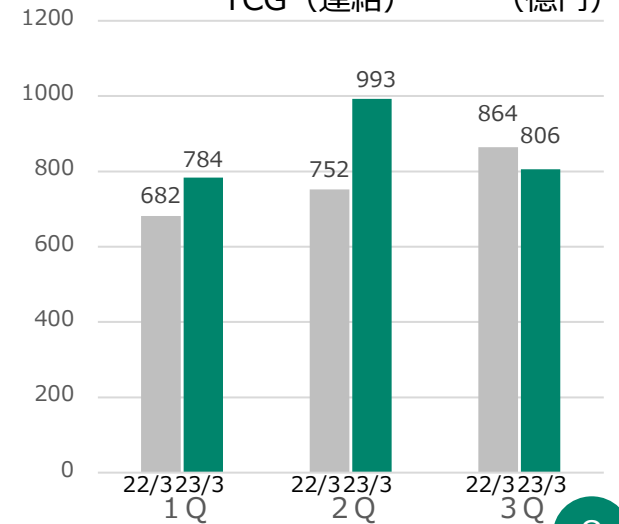
東興ジオテック



タカマツハウス



TCG (連結) (億円)



高松建設 マンション・非マンション別受注高

- ◆ 大阪は複合施設の大型案件の受注により非マンションが前年比大幅増、東京はマンション・非マンションともに前年比減だが、高松建設全社では前年実績を上回り、通期でも前年実績を上回る見通し。
- ◆ 2Qまでは例年と比較すると東京の非マンション比率が低かったが（23/3 2Q：15.1%、21/3 2Q：48.7%、20/3 2Q：44.3%）、3Q時点で比率が増加した。通期では例年と同等の水準で落ち着くものと思われる。

マンション・非マンション別 受注高

(百万円)

	大阪				東京			
	2022/3 3Q	構成比	2023/3 3Q	構成比	2022/3 3Q	構成比	2023/3 3Q	構成比
マンション	13,103	38.1%	11,301	22.0%	31,675	70.9%	30,147	80.2%
非マンション	21,318	61.9%	40,179	78.0%	12,987	29.1%	7,432	19.8%
合計	34,422	100%	51,480	100%	44,662	100%	37,579	100%

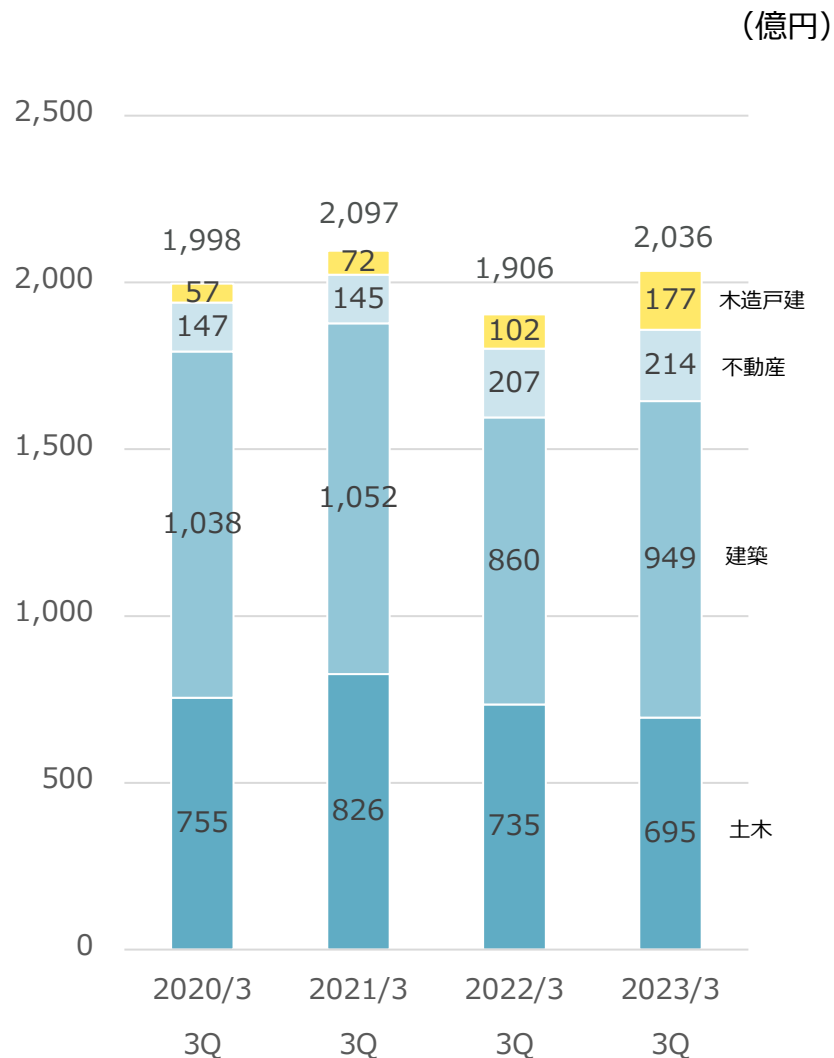
※数値はグループ会社間取引を含む。

セグメント別 売上高（連結）

◆ 土木はみらい建設工業、東興ジオテックでの減少などが影響し△5.5%。建築は高松建設の増加などの影響で+10.4%の増加。木造戸建は順調で+72.4%と大幅増。

(百万円)

セグメント別	2020/3 3Q	2021/3 3Q	2022/3 3Q	2023/3 3Q
土木	75,504	82,633	73,586	69,508
建築	103,801	105,297	86,030	94,989
不動産	14,735	14,574	20,732	21,409
木造戸建 (タカマツハウス グループ)	5,781	7,283	10,289	17,740
TCG連結	199,823	209,788	190,639	203,647



※個々の数値の合計と合計数値は連結修正のため一致しない場合がある。

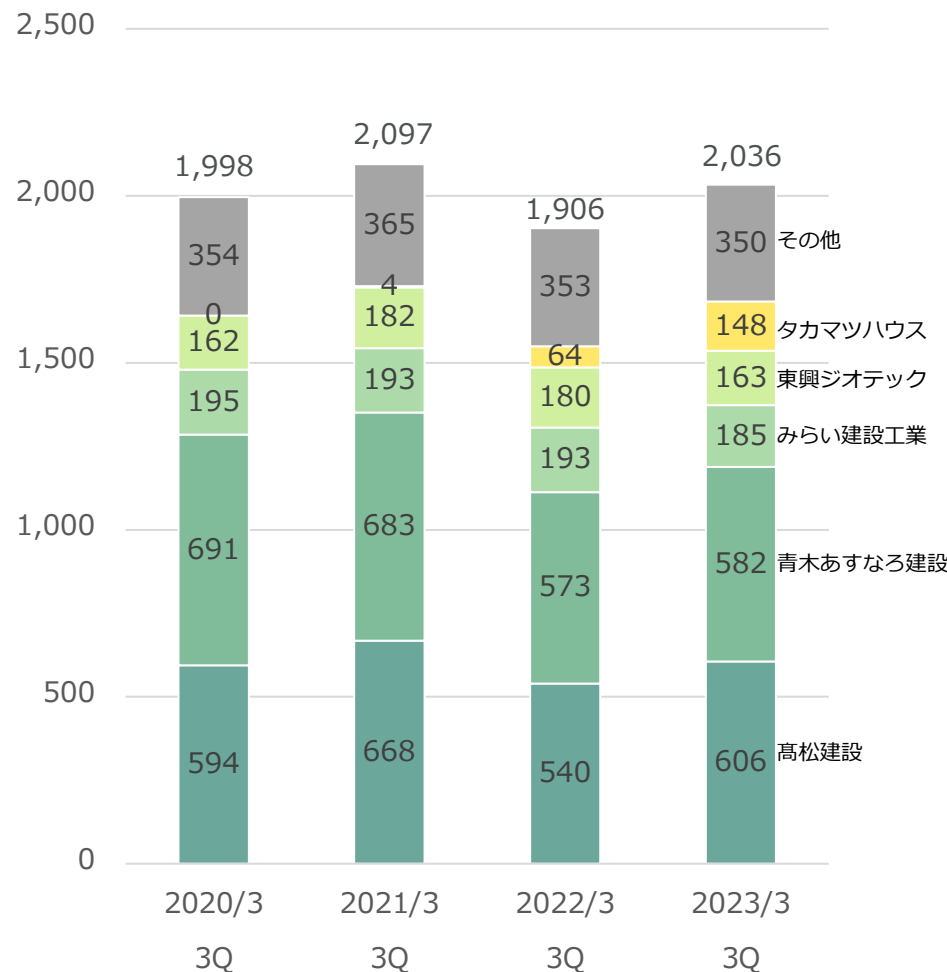
中核事業会社別 売上高（連結）

◆ 高松建設は+12.1%と増加、青木あすなろ建設は+1.5%と微増。みらい建設工業は△3.7%。東興ジオテックは上期の受注不振、工事進捗の遅れなどの影響により△9.6%。タカマツハウスは順調に売上を伸ばし、前年比約2.2倍。

(百万円)

会社別	2020/3 3Q	2021/3 3Q	2022/3 3Q	2023/3 3Q
高松建設 (単体)	59,446	66,863	54,079	60,600
青木あすなろ 建設 (単体)	69,157	68,355	57,336	58,214
みらい 建設工業 (単体)	19,521	19,375	19,301	18,586
東興 ジオテック (単体)	16,215	18,224	18,090	16,351
タカマツ ハウス (単体)	-	465	6,482	14,864
その他 (含連結調整)	35,484	36,506	35,351	35,032
TCG連結	199,823	209,788	190,639	203,647

(億円)



※個々の数値の合計と合計数値は連結修正のため一致しない場合がある。

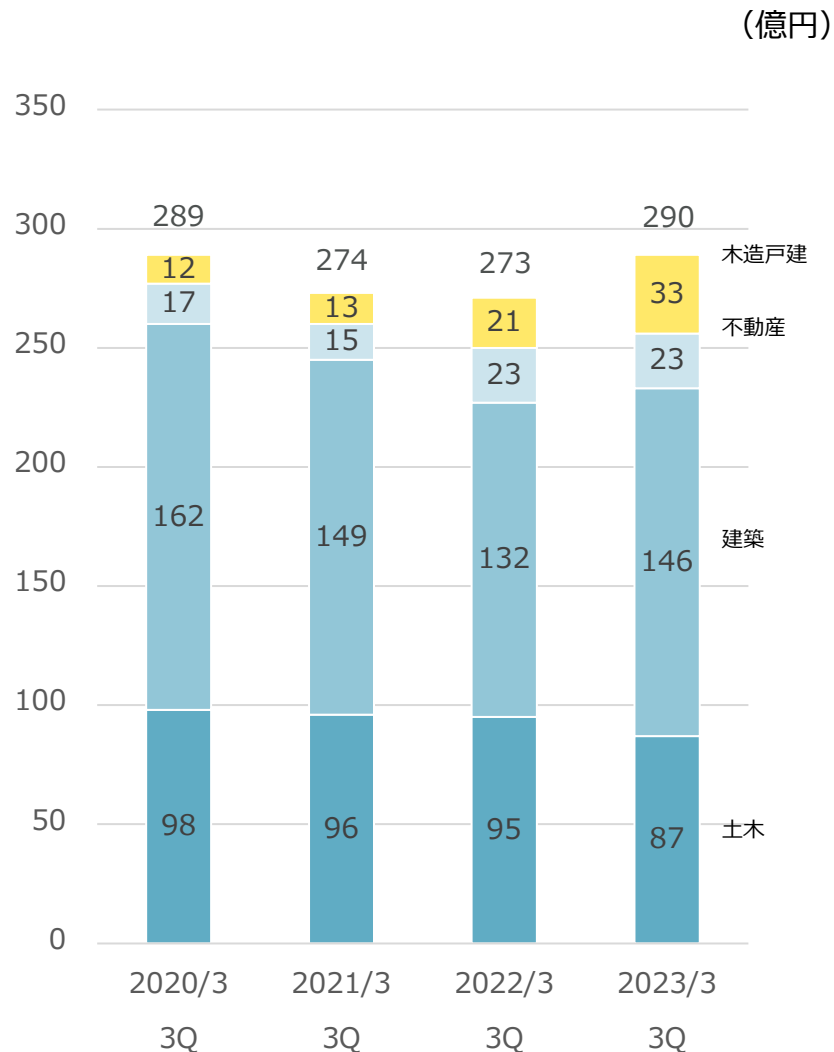
※個社の数値はグループ会社間取引を含む。

©2023 TAKAMATSU CONSTRUCTION GROUP CO., LTD.

セグメント別 売上総利益（連結）

◆ 土木は青木あすなる建設は前年比微増も、東興ジオテックの売上減が影響し前年比△8.4%。建築は高松建設、青木あすなる建設の売上増加により前年比+10.2%。木造戸建は好調を維持し+55.2%。

セグメント別	2020/3 3Q	2021/3 3Q	2022/3 3Q	2023/3 3Q
土木	9,815	9,608	9,549	8,744
建築	16,230	14,908	13,293	14,653
不動産	1,714	1,542	2,314	2,309
木造戸建 (タカマツハウス グループ)	1,224	1,376	2,173	3,373
TCG連結	28,985	27,436	27,330	29,080

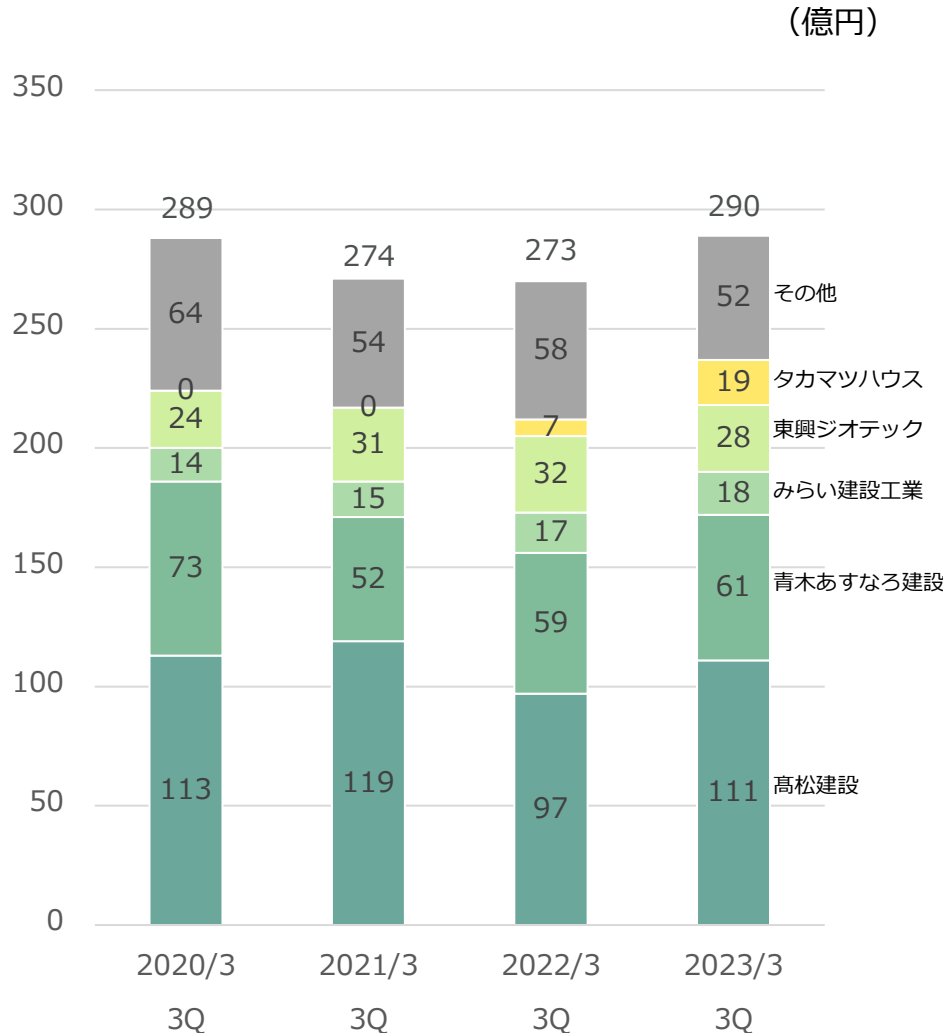


※個々の数値の合計と合計数値は連結修正のため一致しない場合がある。

中核事業会社別 売上総利益（連結）

◆ 売上の増加により、高松建設は前年比+14.1%、青木あすなる建設は+3.2%。みらい建設工業は+3.2%、東興ジオテックは売上の減少により売上総利益△13.0%。タカマツハウスは好調を維持し前年の約2.5倍。売上の減少などにより、その他中核5社以外のグループ会社で△10.8%。

会社別	2020/3 3Q	2021/3 3Q	2022/3 3Q	2023/3 3Q
高松建設 (単体)	11,315	11,937	9,745	11,120
青木あすなる 建設 (単体)	7,319	5,245	5,958	6,150
みらい 建設工業 (単体)	1,465	1,597	1,789	1,846
東興 ジオテック (単体)	2,484	3,106	3,242	2,819
タカマツ ハウス (単体)	-	69	764	1,943
その他 (含連結調整)	6,402	5,482	5,832	5,202
TCG連結	28,985	27,436	27,330	29,080



※個々の数値の合計と合計数値は連結修正のため一致しない場合がある。

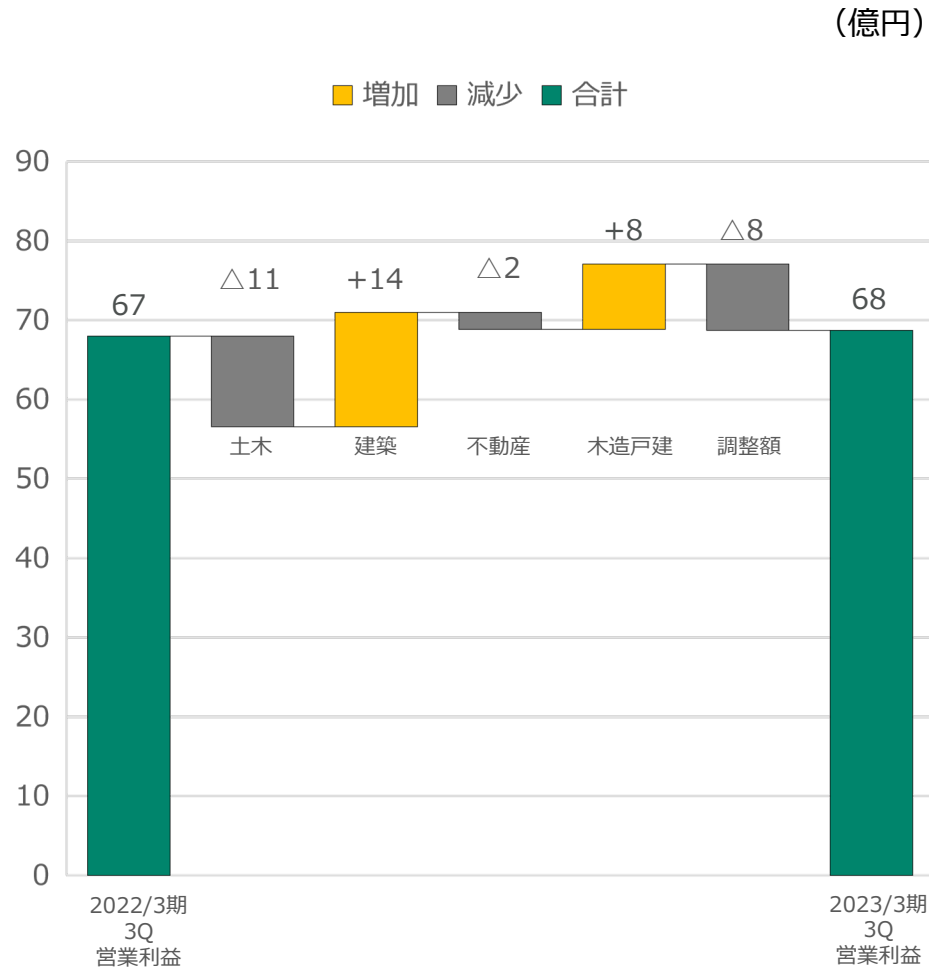
※個社の数値はグループ会社間取引を含む。

©2023 TAKAMATSU CONSTRUCTION GROUP CO., LTD.

セグメント別 営業利益（連結）

◆ 土木は青木あすなろ建設で営業利益微増も、みらい建設工業、東興ジオテックの営業利益減が響き、前年比△20.2%。建築は、高松建設の営業利益大幅増により、前年比+82.2%増加。不動産は高松建設の営業利益減の影響が大きく△23.3%減。木造戸建事業も好調を維持し約3倍の増加。

セグメント別	2020/3 3Q	2021/3 3Q	2022/3 3Q	2023/3 3Q
土木	6,016	5,716	5,649	4,507
建築	6,758	4,138	1,757	3,201
不動産	460	228	924	709
木造戸建 (タカマツハウス グループ)	△144	△305	415	1,238
連結調整	△2,617	△1,693	△1,949	△2,785
TCG連結	10,473	8,085	6,798	6,871

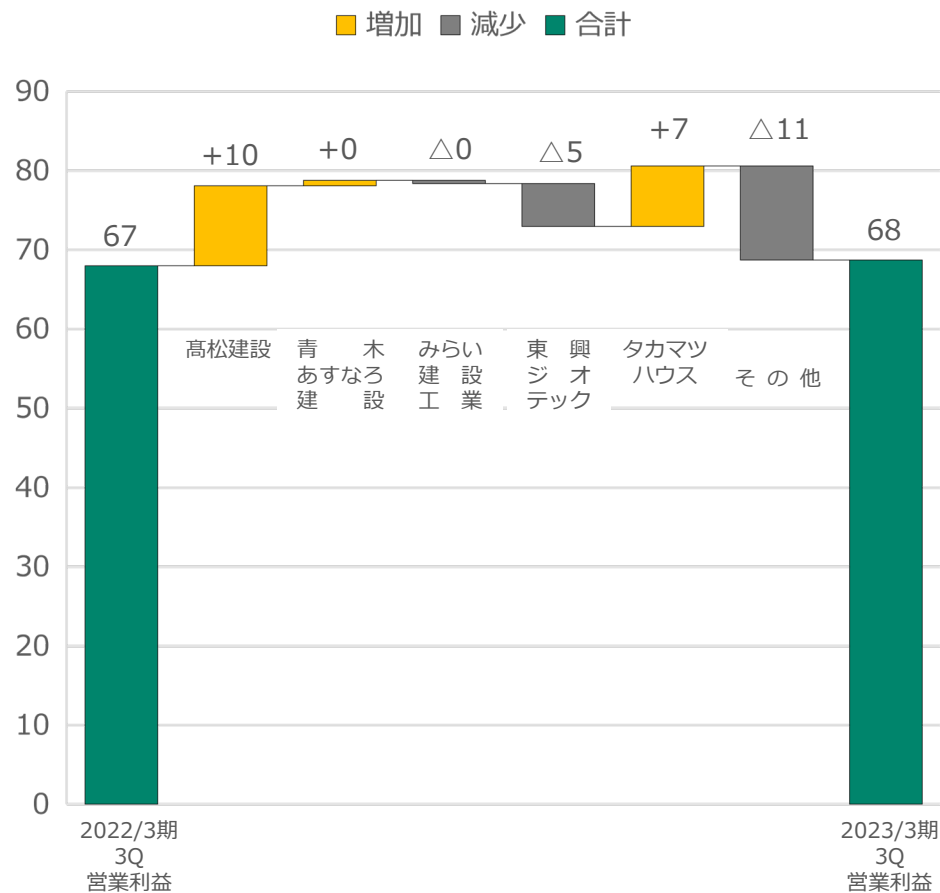


※個々の数値の合計と合計数値は連結修正のため一致しない場合がある。

中核事業会社別 営業利益（連結）

◆ 高松建設は人件費は増加しているものの、売上の増加により前年比+52.9%と大幅増。青木あすなろ建設は+4.0%、みらい建設工業は△10.7%、東興ジオテックは売上の減少と人件費の増加で△27.5%。タカマツハウスは人件費が増加しているものの売上の大幅な伸びにより前年比約9倍と大幅増。その他、TCGの人件費増や、中核5社以外のグループ会社のうち上期の不振を挽回できなかった会社があり56.5%減となった。その結果、連結で+1.1%に留まる。
 (百万円) (億円)

会社別	2020/3 2Q	2021/3 2Q	2022/3 2Q	2023/3 2Q
高松建設 (単体)	4,139	4,345	1,911	2,922
青木あすなろ 建設 (単体)	3,228	1,102	1,693	1,761
みらい 建設工業 (単体)	77	237	385	344
東興 ジオテック (単体)	1,294	1,847	1,956	1,418
タカマツ ハウス (単体)	△56	△210	94	855
その他 (含連結調整)	1,791	764	759	△429
TCG連結	10,473	8,085	6,798	6,871



※個々の数値の合計と合計数値は連結修正のため一致しない場合がある。

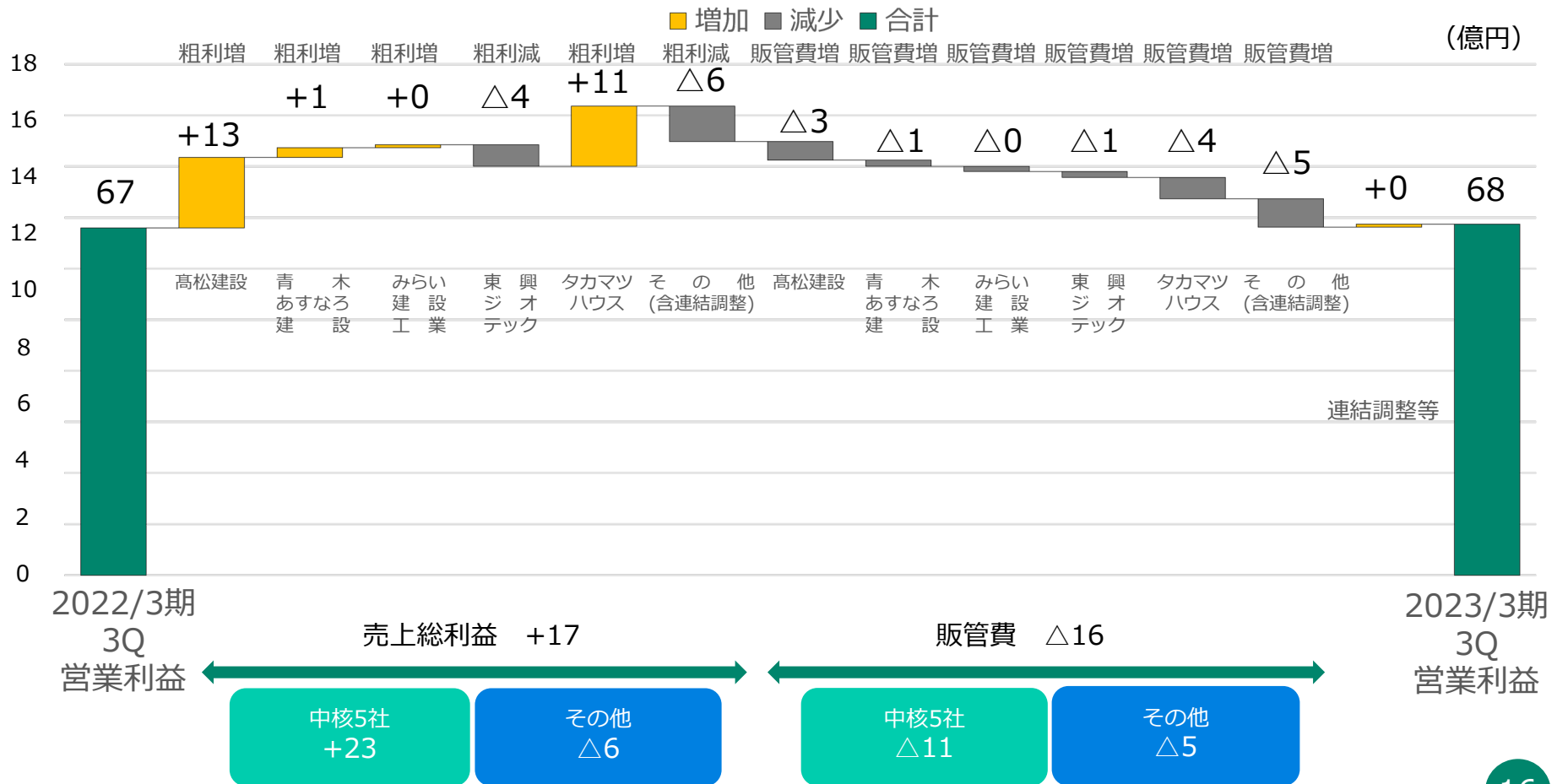
※個社の数値はグループ会社間取引を含む。

©2023 TAKAMATSU CONSTRUCTION GROUP CO., LTD.

売上総利益・販管費 営業利益増減分析

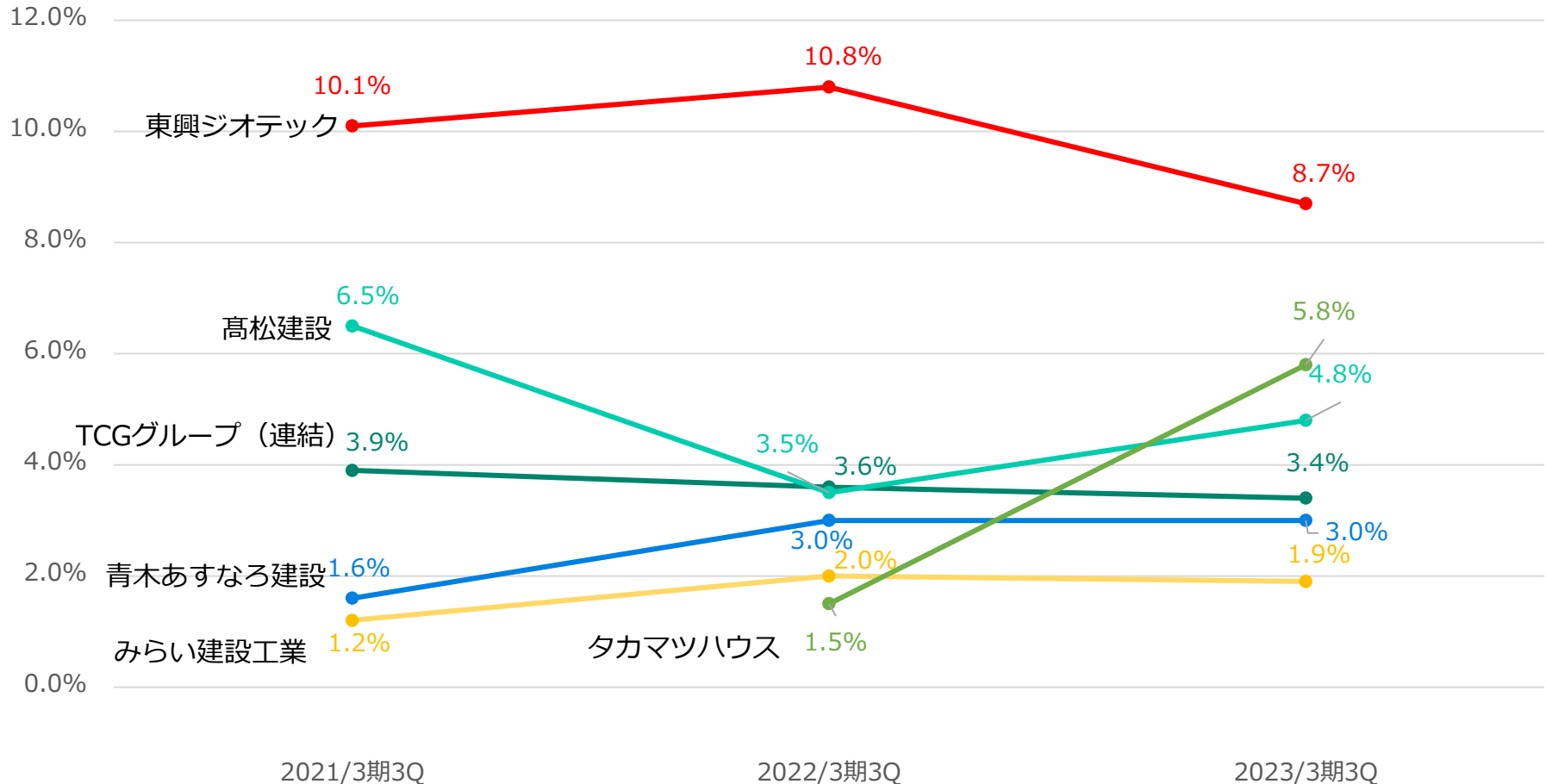
◆ 東興ジオテックの売上総利益減を、主に高松建設、タカマツハウスの売上総利益増で補うも、中核5社以外の各社の売上総利益減が大きく、全体としては前年比で約17億円の売上総利益増にとどまる。販管費は主に高松建設、タカマツハウスで人件費が増加しており、中核5社以外の会社でも販管費が増加したため、全体で約16億円の増加。

営業利益増減分析



TCGグループ（連結）と中核5社の営業利益率

- ◆ 高松建設の売上総利益率は前年比+0.4pt、販管費は増加するも、営業利益率は前年比+1.3pt。青木あすなろ建設は売上総利益率は+0.2pt、販管費は微増で営業利益率は横ばい。
- ◆ タカマツハウスは人件費が増加したものの、売上総利益率が前年比+1.3ptで、営業利益率は前年比+4.3ptと大幅増。
- ◆ 東興ジオテックは売上総利益率△0.7ptで販管費も微増となり営業利益率△2.1pt。みらい建設工業は売上総利益率+0.6ptで、販管費も微増のため、営業利益率△0.1ptと微減。



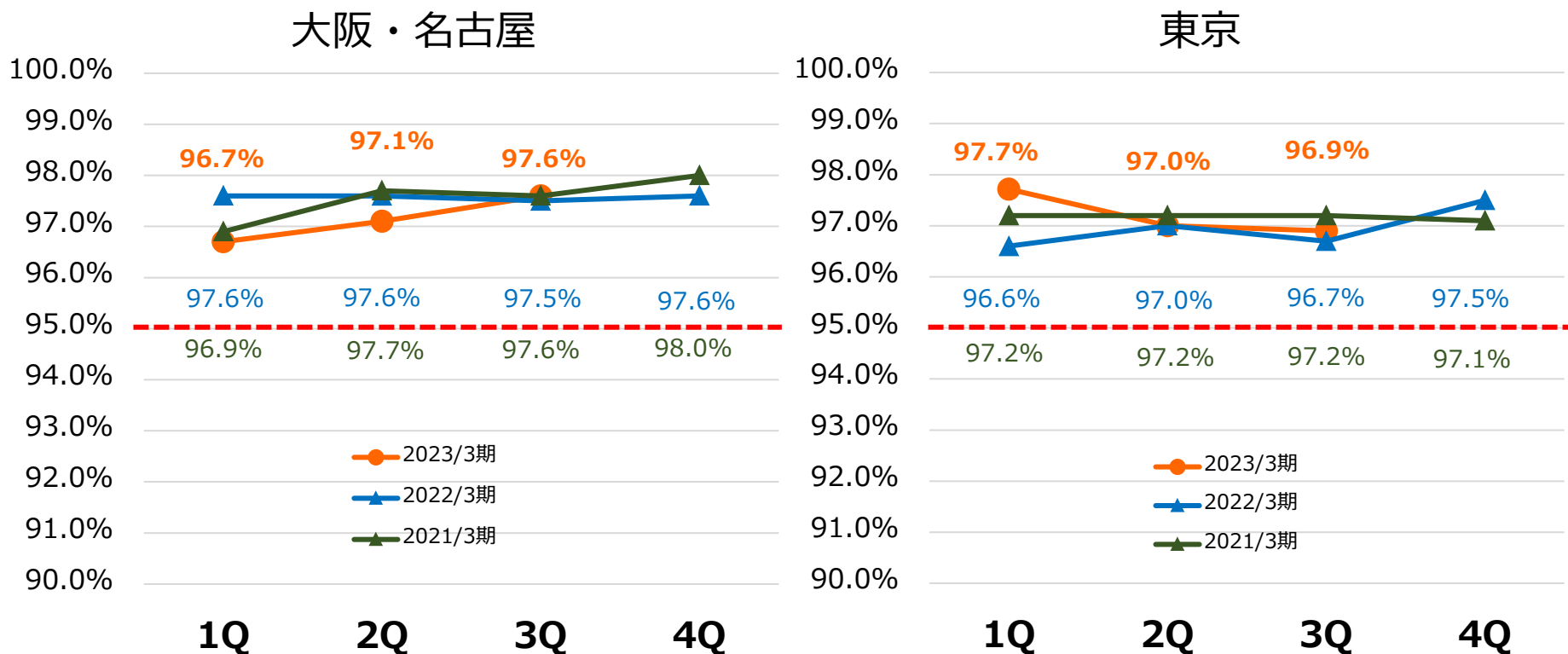
※タカマツハウスは2021年3月期が実質立ち上げ初年度のため2022年3月期から記載。

※個社の数値はグループ会社間取引を含む。

©2023 TAKAMATSU CONSTRUCTION GROUP CO., LTD.

高松エステートにおける高松建設施工物件の入居率

◆ 東京・大阪ともに、入居率は23/3月期3Qも95%以上を維持。



定義：

「大阪・名古屋」＝大阪府、京都府、兵庫県、名古屋市

「東京」＝東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県

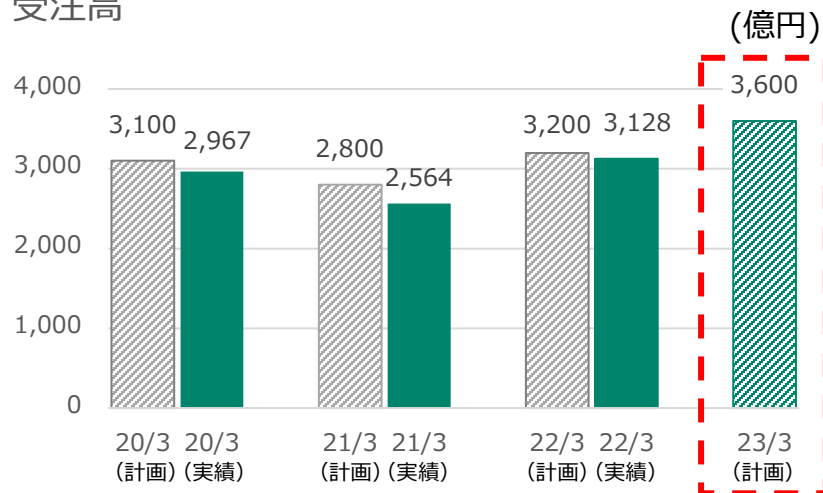
「入居率」＝各四半期末時点の高松エステートが管理している高松建設施工物件の入居戸数
 ÷ 各四半期末時点の高松エステートが管理している高松建設施工物件の総戸数

2023年3月期
業績予想・配当予想

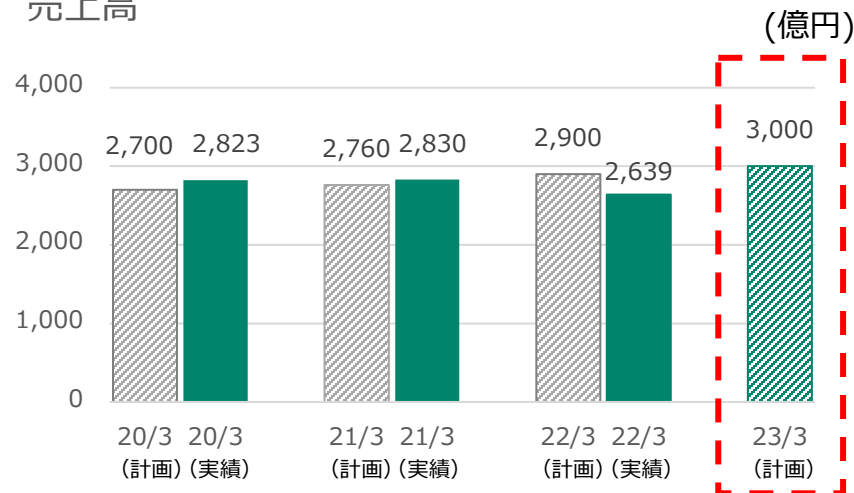
2023年3月期 業績予想

◆ 受注高は木造戸建が大幅増を見込み、土木でも微増を見込む。高松建設グループも順調な成長を見込み、売上高と営業利益もそれにあわせて増加。

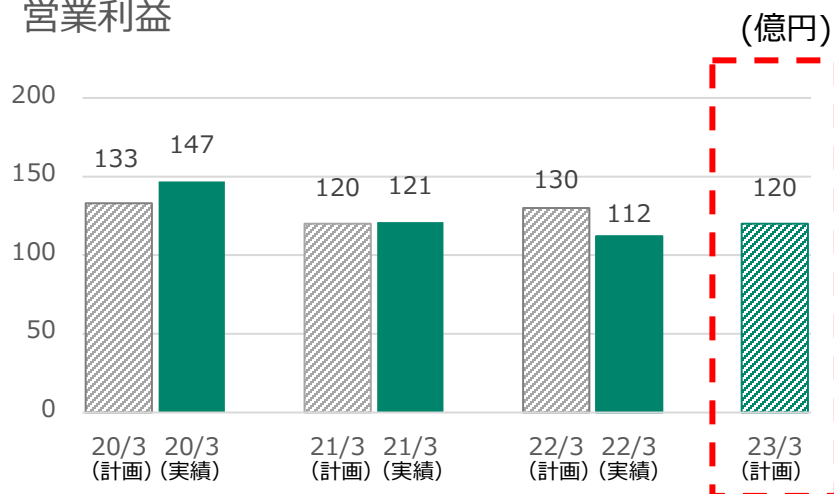
受注高



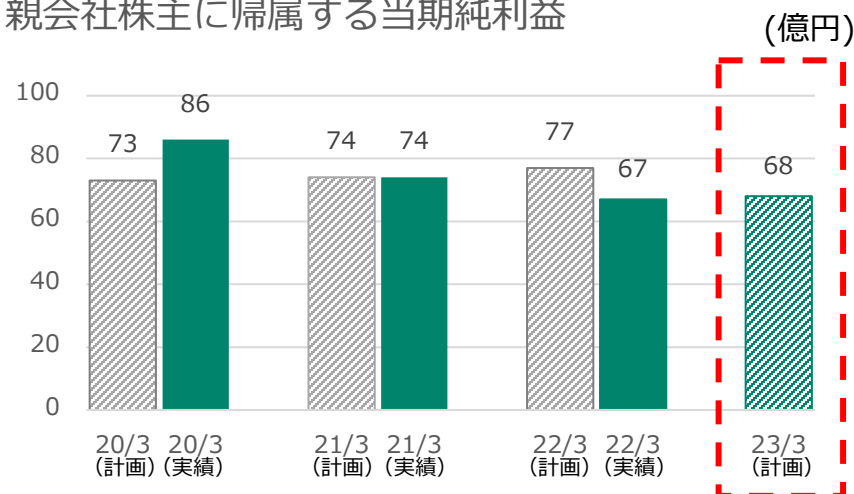
売上高



営業利益



親会社株主に帰属する当期純利益

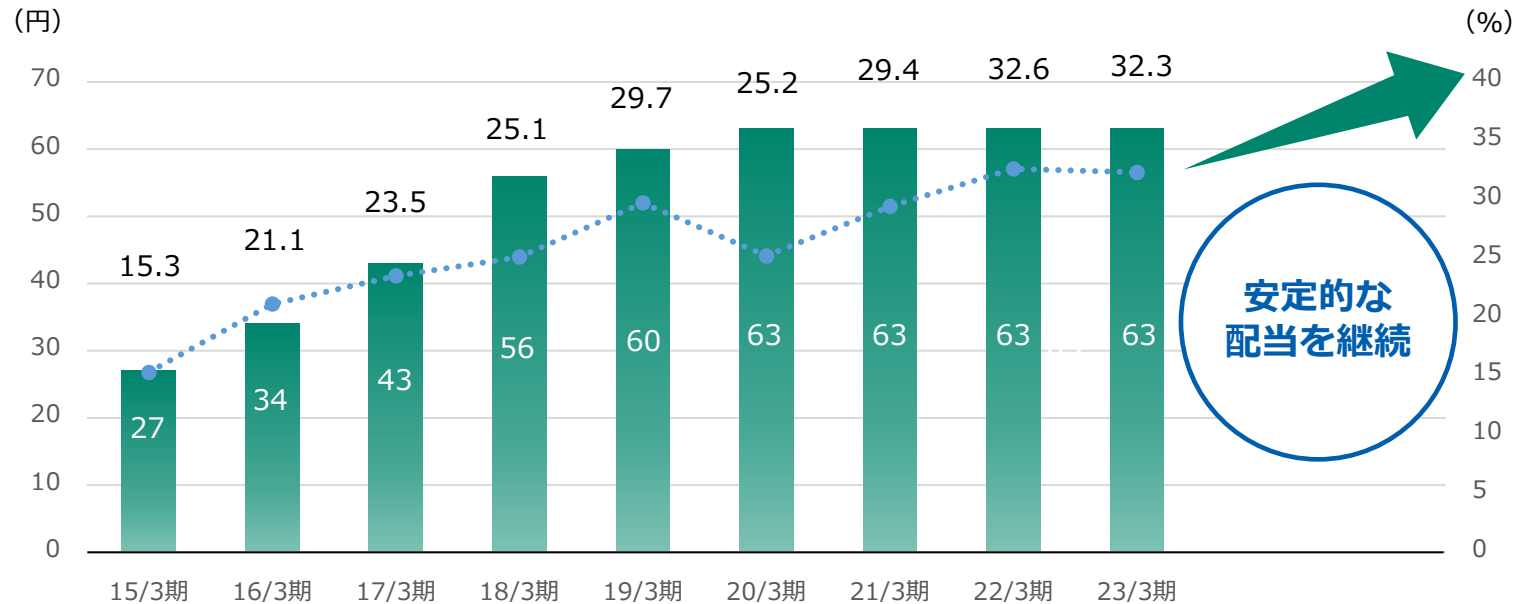


2023年3月期 配当予想（配当額・配当性向）

- ◆ 配当額は1株当たり63円の予定。
- ◆ 今後も安定的な配当を継続していく予定。

	15/3 実績	16/3 実績	17/3 実績	18/3 実績	19/3 実績	20/3 実績	21/3 実績	22/3 実績	23/3 計画
配当額（円）	27	34	43	56	60	63	63	63	63
配当性向（%）	15.3	21.1	23.5	25.1	29.7	25.2	29.4	32.6	32.3

配当額・配当性向 推移



トピックス

トピックス

◆ 高松建設

○ 開発型SPCのエクイティ出資

2021年8月に受注したTRNグループの商業ビル建替計画「(仮称)本厚木駅前ビル計画」が、2022年10月に着工した。竣工は2024年春頃を予定している。設計・施工で、工事規模は約20億円となる見込み。本件は開発型SPCを活用したスキームを採用しており、高松建設がエクイティの一部を出資した。私募ファンドのエクイティと開発型SPCのエクイティ両出資を行った例では、会社全体を通して初めての取組みとなる。

- ・所在地：神奈川県厚木市中町2-1-18
- ・構造・規模：鉄骨造12階建
- ・敷地面積：650.96㎡
- ・建築面積：430.52㎡



◆ タカマツハウス

○ ミラクラス善福寺Ⅱ

- ・着工：2022年10月20日着工
- ・竣工：2023年2月末(予定)
- ・JR中央・総武線、京王井の頭線『吉祥寺』駅より徒歩18分
- ・金額：8,980万円～9,980万円
- ・土地面積：109.81㎡(32.21坪)～110.48㎡(33.42坪)
- ・建物面積：87.26㎡(26.39坪)～89.42㎡(27.04坪)

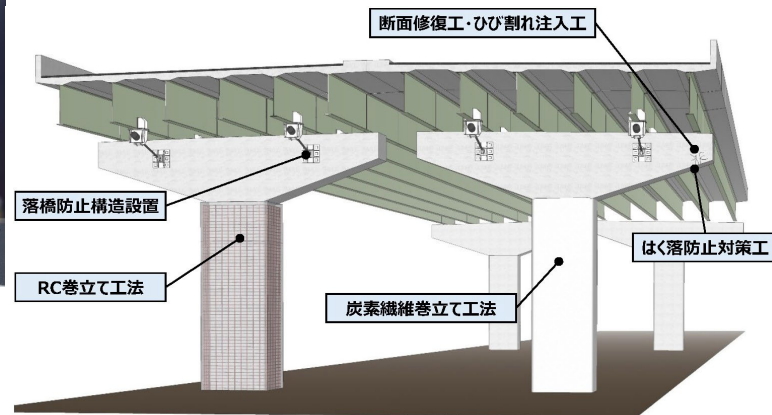


◆ みらい建設工業

○ 近畿自動車道

西岩田高架橋他4橋耐震補強工事

- ・発注者：西日本高速道路株式会社 関西支社
- ・受注者：みらい建設工業
- ・工事場所：大阪府東大阪市荒本西～大阪府東大阪市若江西新町
- ・請負総額：20.3億円(税抜)
- ・工期：2022年10月20日～2026年7月1日
- ・工事内容：高速道路の耐震補強工事



▲ 耐震補強工事説明図

高松コンストラクシヨングループ

本資料に記載されている将来に関する記述は、本資料作成日現在で入手可能な情報にもとづいて作成したものであり、実際の実績等は今後様々な要因によって異なる可能性があります。また、当資料は投資家判断の参考となる情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。